



に い が た

県電だより



『椎谷観音堂』

撮影場所・撮影日／柏崎市椎谷 平成 29 年 6 月

【コメント】

「しいやの観音さん」として広く親しまれ、弘仁年間（810～823年）の草創と伝えられていますが、寛永元年（1624年）に焼失してしまい、現在の観音堂は明和7年（1770年）に再建されたものです。

観音堂は小高い山の上であり、300段ある石段の途中には、椎谷の街並みや日本海を一望できる絶好の展望箇所があります。また、宝物殿には多くの馬や船の絵馬が奉納され、地元の馬市や海上安全の信仰を物語っています。

また、観音堂脇からは天拝山山頂への約10分の山歩きコースが整備されており、健脚の方は山頂まで足をのばされることをお勧めします。

撮影者／新潟県電気工事工業組合

柏崎支部 有限会社 佐和田電気工業 佐藤 正夫 氏

表紙写真紹介

新潟県電気工事工業組合



目 次

1. 平成 29 年度 第 69 回通常総代会開催報告	1
2. 新潟県電気工事工業組合政治連盟 第 37 回通常評議員会	4
3. 「県青年部」平成 29 年度 理事総会を開催	6
4. 平成 29 年度 新規雇い入れ時安全衛生教育を開催	8
5. 電気工事士現場力レベルアップセミナーを開催	9
6. 平成 29 年度「危険予知訓練」を開催	10
7. 東北電力引込線工事作業訓練（昇降柱訓練、基礎訓練）を開催	11
8. 各支部だより	13
9. 各青年部だより	15
10. 平成 29 年度電気使用安全月間	17
11. 組合員の異動・変更	18
12. 危険物取扱者試験（8 月分）・消防設備士試験（10 月分）	19
13. 新潟県家庭用太陽光発電導入促進事業補助金	20

【表紙写真募集】

- 県電だより年間発行予定：1 月 1 日、4 月 1 日、7 月 1 日、10 月 1 日（年 4 回発行）
- 写真の現物あるいはデジタルカメラで撮影したデータを、発行日の 1 ヶ月前までに下記までお送り下さい。

記

〒 951-8068 新潟市中央区上大川前通 6 番町 1203 新潟県電気工事工業組合 TEL 025 - 229 - 4101

第 69 回 通常 総 代 会

小林理事長を再任

「組合は組合員のために」をモットーに事業を推進 —各委員会事業や基本業務を着実に実施—

当工組の平成 29 年度第 69 回通常総代会は、去る 6 月 1 日（木）ANA クラウンプラザホテル新潟において、総代 100 名中 90 名（うち委任状 25 名）が出席して開催され、平成 28 年度事業報告並びに収支決算、平成 29 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）等について審議可決したのち、任期満了に伴う役員改選では、理事長に小林功氏を再任したほか理事・監事を選任した。



理事長挨拶

総代会は、西村事務局長の司会で定刻 13 時 45 分に開催され、出席総代数の報告が行われたのち、平成 28 年度に物故された 6 名の組合員に追悼の意を表して黙祷を捧げた。

次に、小林理事長より開会の挨拶が行われたのち、議長団の選出に移り、議長に上越支部・大和電建(株)・本山秀樹氏、副議長に新発田支部・丸山電業社・丸山正孝氏、同じく副議長に魚沼支部・(株)真島電気店・真島慎一氏を選出して直ちに議事に入った。

〔第 1 号議案〕平成 28 年度事業報告並びに収支決算承認の件

（事業報告）

事業活動の概要、並びに総務委員会関係、経



議長団

営企画推進委員会関係、技術委員会関係、引込線事業委員会関係の各事業委員会関係、及び青年部関係の主な事業の実施状況について報告が行われた。

（収支決算）

平成 28 年度の収支決算は、総収益 3 億 2,332 万円、総費用 3 億 754 万円で、経常利益 1,511 万円、当期純利益 1,073 万円の実績となり、当期末処分利益 5,217 万円のうち利益準備金、特別積立金を各々 150 万円、並びに 70 周年記念事業積立金を 300 万円とする等、次期繰越剰余金を 4,147 万円とする剰余金処分案を満場一致で承認した。

〔第 2 号議案〕平成 29 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件

(事業計画)

組合員の真のニーズに応えるための事業計画として、各事業委員会の重点施策等について説明が行われた。

(収支予算)

効率的な事業運営に努め、平成 28 年度実績に比べて 574 万円減額の 3 億 4,690 万円の予算編成の説明が行われ、満場一致で原案どおり承認した。

〔第 3 号議案〕 役員報酬限度額決定の件

理事 950 万円、監事 50 万円を満場一致で承認した。

〔第 4 号議案〕 借入金残高最高限度額決定の件

5,000 万円を満場一致で承認した。

〔第 5 号議案〕 定款一部変更の件

定款参考例が改正されたので、この定款参考例に基づき変更するものである旨の説明が行われ、満場一致で原案どおり承認した。

〔第 6 号議案〕 規約一部変更の件

市町村合併並びに東北電力(株)営業所の統廃合により支部の地区を変更する必要があるため、「支部設置に関する規約 別表 1」を変更するものである旨の説明が行われ、満場一致で原案どおり承認した。

〔第 7 号議案〕 任期満了に伴う理事並びに監事選任の件

別掲のとおり新役員を選任したのち、新理事による理事会が開催され、小林功氏が理事長に、吉田徳治氏・横田良英氏・齊藤隆氏が副理事長にそれぞれ選出された。

■新役員名簿**【理事長】**

小林 功 (上越支部)

【副理事長】

吉田 徳治 (新潟支部)

横田 良英 (柏崎支部)

齊藤 隆 (長岡支部)

【理 事】

斎藤 賢 (新潟支部)

渡邊 重夫 (新潟支部)

森山 隆吉 (新潟支部)

小田 保積 (村上支部)

工藤 健生 (村上支部)

齊藤 淳 (新発田支部)

遠藤 利行 (新発田支部)

渡邊 正志 (新津支部)

小川 邦之 (新津支部)

本間 好夫 (三条支部)

大方 一 (三条支部)

原田 和広 (燕支部)

星野 泰助 (燕支部)

小越 隆 (長岡支部)

宮下 嘉克 (長岡支部)

山本 進 (小千谷支部)

猪俣 光夫 (小千谷支部)

関 雅生 (柏崎支部)

本山 秀樹 (上越支部)

梨本 栄一 (上越支部)

真島 慎一 (魚沼支部)

横山 弘文 (魚沼支部)

富井 繁雄 (十日町支部)

柳 貢 (十日町支部)

石川 和彦 (佐渡支部)

中務 浩 (佐渡支部)

齊藤 卓也 (青年部)

服部 芳和 (電気工事組合)

【監 事】

星 邦彦 (新潟支部)

早川 一仁 (長岡支部)

水嶋 光彦 (上越支部)

次に小林理事長より「只今の理事会で、あらためて理事長を仰せつかり、責任の重さを感じている。業界・組合を取り巻く環境が大きく変化するのなかで、当工組の進むべき方向性を皆さんとともに検討してまいりたいと考えているので、ご意見とご協力をお願い申し上げます。」と就任の挨拶が行われた。

引き続き事務局より、この度退任される 10 名

の役員の紹介が行われた。

■退任役員

荻 莊 賢一氏（新潟支部）
 長 浜 春一氏（新潟支部）
 小 名 隆一氏（新潟支部）
 高 野 英一氏（村上支部）
 松 原 千臣氏（新津支部）
 関 川 正一氏（三条支部）
 有 坂 友栄氏（燕支部）
 佐 藤 春男氏（小千谷支部）
 木 我 伸一氏（柏崎支部）
 後 藤 和夫氏（十日町支部）

以上で本日の議案は全て終了した。

引き続き、平成 29 年度の表彰式が行われた。
 組合表彰として、

▼電気関係業務永年従事者（満 70 才以上の電気
 功労者）表彰 = 18 名

▼役員永年勤続者表彰 = 3 名

▼優良従業員永年勤続者表彰

- ・満 10 年表彰 = 13 名
- ・満 20 年表彰 = 13 名
- ・満 30 年以上表彰 = 29 名

76 名の受彰者を代表して、有坂友栄氏（燕支
 部）が謝辞を述べて組合表彰が終了した。

続いて、支部活動で優秀な成績を挙げた各支
 部に対して優秀支部表彰が行われた。

▼優秀支部表彰

- ・最優秀賞：新潟支部
- ・優秀賞：上越支部
- ・努力賞：長岡支部、小千谷支部

続いて、東北七県電気工事組合連合会表彰伝
 達式並びに全日本電気工事業工業組合連合会表
 彰伝達式が行われた。

▼東北七県電気工事組合連合会表彰

- (1) 指導功労者 = 1 名
- (2) 優良従業員および組合優良職員 = 8 名

▼全日本電気工事業工業組合連合会表彰

- (1) 役員の部 = 1 名
- (2) 職員の部 = 1 名



受彰者代表謝辞

変圧器／ヒューズ／開閉器／受配電設備／配電自動化機器／監視制御システム／
 太陽光発電用パワーコンディショナ／高周波電源／溶接機／切断機／ロボット

DAIHEN

株式会社 ダイヘン

本 社 〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1-11 TEL 06(6301)1212
 東北支社 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4丁目7番地7 TEL 022(218)0942

<http://www.daihen.co.jp/>

新潟県電気工事工業組合政治連盟

第 37 回 通常評議員会

新潟県電気工事工業組合政治連盟第 37 回通常評議員会が、評議員 100 名中 90 名（うち委任状 25 名）が出席して午後 4 時 30 分より開催された。

はじめに小林会長より開会挨拶が行われたのち、有坂友栄幹事長より当工組組合員関係者市長村議会議員で組織されている議員協議会員 4 名のうち 3 名の方々が当評議員会にご出席されている旨の報告と、それぞれのご紹介を行った。

続いて、当連盟顧問の塚田一郎参議院議員(代理)、同相談役の星野伊佐夫県議会議員、並びに高倉栄県議会議員にご出席いただいている旨の報告と、それぞれご挨拶を賜った。

続いて、議長に上越支部・大和電建(株)・本山秀樹氏を選出して議事に入った。

〔第 1 号議案〕平成 28 年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、収支計算書及び

繰越金承認の件

〔第 2 号議案〕平成 29 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件

〔第 3 号議案〕任期満了に伴う会長、副会長、幹事長、幹事並びに会計監査選任の件

以上 3 議案は原案どおり可決承認し、本日の議案は全て終了した。



顧問・相談役・議員協議会員

東北七県電気工事組合連合会
全日本電気工事業工業組合連合会

当工組小林功理事長が
東北七県電気工事組合連合会 理事長
全日本電気工事業工業組合連合会 副会長 に再任

当工組の小林功理事長が、6 月 8 日に仙台市内で開催された東北七県電気工事組合連合会総会において同連合会の理事長、また、6 月 29 日に東京都内で開催された全日本電気工事業工業組合連合会総会において同連合会の副会長に再任されました。

県本部 第 3 回理事会

各事業委員会等役員決まる

県本部の第 3 回理事会は、去る 6 月 20 日電気工事会館において理事 32 名、監事 3 名出席のもと開催され、[第 1 号議案] 新規加入組合員承認の件、[第 2 号議案] 各事業委員会並びに創立 70 周年記念事業実行委員会の編成・委嘱の件について審議が行われました。

続いて各事業委員会にわかれて第 1 回委員会を開催し、理事会は閉会しました。
なお、各事業委員会の設置・編成は次のとおり。

.....
平成 29 年度 役職・委員会名簿
.....

- | | | | |
|--------|----------|----------------|-----------|
| 理 事 長 | 小林 功 (上) | (統括・財務・70 周年) | |
| 副理事長 | 吉田徳治 (新) | (総務・70 周年・青年部) | |
| 副理事長 | 横田良英 (柏) | (技術・引込・70 周年) | |
| 副理事長 | 齊藤 隆 (長) | (経営企画・70 周年) | |
| | | 監 事 | 星 邦彦 (新) |
| 議 長 | 本山秀樹 (上) | 監 事 | 早川一仁 (長) |
| 副 議 長 | 宮下嘉克 (長) | 監 事 | 水嶋光彦 (上) |
| 引込線事業部 | 統括管理者 | 理 事 | 原田和広 (燕) |
| 調査事業部 | 管理統括責任者 | 理 事 | ☆服部芳和 (本) |

委員会名		委員長名	副委員長名	委 員 名		
事 業 委 員 会	総務委員会	本間 好夫 (三)	本山 秀樹 (上) 宮下 嘉克 (長)	渡邊 重夫 (新) 星野 泰助 (燕) (青) 齊藤 卓也 (長)	小田 保積 (村) 富井 繁雄 (十)	
	経営企画推進委員会	山本 進 (小)	横山 弘文 (魚) 中務 浩 (佐)	大方 一 (三) 関 雅生 (柏)	小越 隆 (長) 柳 貢 (十)	
	技術委員会	齊藤 淳 (発)	梨本 栄一 (上)	斎藤 賢 (新) 猪俣 光夫 (小) 石川 和彦 (佐)	小川 邦之 (津) 真島 慎一 (魚)	
	引込線事業委員会	原田 和広 (燕)	遠藤 利行 (発)	森山 隆吉 (新) 渡邊 正志 (津)	工藤 健生 (村) (理) 村田 靖 (長)	
	部 会 長	副 部 会 長	部 会 員			
	* 村田 靖 (長)	* 久保田 一 (新)	* 田中 三郎 (新)			* 湯浅 宏一 (新)
			* 菊池 武士 (新)			* 小池 正司 (村)
			* 富樫 真二 (村)			* 渡辺 智明 (発)
			* 雪井 忠彦 (発)			* 白井 敏信 (津)
			* 市野瀬雅博 (三)			* 竹村 龍彦 (燕)
			* 小越 隆 (長)			* 今井 勲 (長)
			* 平石新一郎 (小)			* 壘 良平 (柏)
			* 筑波 勇次 (上)			* 山内 司 (魚)
			* 中俣 喜一 (魚)			* 池田 宏 (十)
			* 斎藤 保弘 (佐)			* 大崎 勝則 (佐)
	創立 70 周年記念 事業実行委員会	吉田 徳治 (新)	横田 良英 (柏) 齊藤 隆 (長)	本間 好夫 (三) 齊藤 淳 (発) 星野 泰助 (燕)	山本 進 (小) 原田 和広 (燕)	

注：氏名前の (青) は青年部理事、☆は員外理事、(理) は理事長推薦、* は支部長推薦
注：氏名後の (新) は新潟支部、(村) は村上支部、(発) は新発田支部、(津) は新津支部、(三) は三条支部、(燕) は燕支部、(長) は長岡支部
(小) は小千谷支部、(柏) は柏崎支部、(上) は上越支部、(魚) は魚沼支部、(十) は十日町支部、(佐) は佐渡支部、(本) は県本部

県 青 年 部

平成 29 年度理事総会

齊藤新会長を選任

— 電気工事業界の更なる発展に向けて！ —

新潟県電気工事工業組合青年部の平成 29 年度理事総会が、6 月 2 日ホテルオークラ新潟において親会の吉田副理事長、新旧理事 35 名、監事 2 名、顧問 1 名、事務局 1 名の計 40 名出席のもと開催された。



前会長 星野泰助

はじめに星野会長より「本日は大変お忙しい中お集まりいただき厚くお礼申し上げます。会長としての 2 年の任期を振り返ると、高校生との交流事業ではこれまで約 500 名以上の高校生に電気工事業を知ってもらうことができました。昨今の求人倍率はバブル期並みになっているとのことだが、この交流事業で蒔いた種が大きな実をつけるよう期待したい。また電気工事のイメージのソフト化を狙って新潟電工ガールプロジェクトを立ち上げ、昨年 11 月に開催された第 2 回全国青年部会員大会の全国青年部優良活動発表会で最優秀賞を受賞することができた。これも青年部の皆さんの支えがあってこそだと思っている。ありがとうございました。そして、恒例の支部間交流親善スポーツ大会は今年で 13 支部全てでの開催を達成する。参加者が毎回 100 人を超える事業は全国の青年部をみても新潟しかない。これも各支部青年部のお陰であり、今後も継続できるよう願っている。本日は役員改選もあるので、今までにない活発なご意見を頂戴したいと考えている、よろしくお願ひします。」と開会挨拶が行われた。

続いて吉田副理事長より「世の中がどんどん変わっていく中で、我々は青年部時代から世の

中の情報収集し、新潟県工組がどういう風になっていったらいいのかをいろいろ勉強しながらメンバーと一緒にやってきた。青年部の皆さんには世の中ではどんなことが起こっているのかということを常に頭に入れて各支部の中心となって進めてもらいたい。また県青年部役員として自分たちのやりたいことを前面に出してここで仲間と一緒に勉強し、そして我々の地位向上ができるよう知恵を出し合って進めていてもらいたいと思います。」と挨拶をいただいた。次に議長に高橋重尚氏（小千谷支部）を選出し、議案の審議に入った。



吉田副理事長

【第 1 号議案】

平成 28 年度事業報告並びに収支決算承認について

平成 28 年度事業報告並びに収支決算報告が行われ、監査報告どおり承認された。



新会長 齊藤卓也

【第 2 号議案】平成 29 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

平成 29 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について説明が行われ、原案どおり承認された。

〔第 3 号議案〕 役員改選について

別掲のとおり会長、副会長、会計、監事、顧問並びに交流・情報正副委員長、経営・技術正副委員長を選任した。

続いて齊藤新会長より「このたびご承認を頂きありがとうございます。時代のニーズを取り入れて会員の皆さんに少しでも役に立つ実のある会にしていきたい。皆さんから様々なご意見を出していただき、よりよい方向へ進めていければと考えています。ご協力よろしく申し上げます。」と就任挨拶が行われ、本年度理事会は閉会した。



平成 29 年度 新潟県電気工事工業組合青年部 役職名簿

役職名	氏名	所属支部	事業所名
会長	齊藤 卓也	長岡	第四電設(株)
副会長	久保田 一	新潟	久保田電機工業(株)
副会長	齊藤 源	村上	旭電工(株)
副会長	戸田 稔	柏崎	戸田電気
会計	三野 敏弘	三条	(株)三野電機商会
監事	坂上 和	村上	(有)坂上電気工事
監事	高橋 重尚	小千谷	(株)高橋電気
顧問	品田 史夫	柏崎	(株)品田電業社
顧問	星野 泰助	燕	(株)星野電業社
交流・情報委員長	五十嵐 一弘	新発田	五十嵐電気
交流・情報副委員長	荻 莊 陽一	新潟	(株)荻莊電機
経営・技術委員長	加藤 和宏	魚沼	加藤電設
経営・技術副委員長	橋本 喜廣	燕	(株)橋本電気商会

平成 29 年度 新規雇い入れ時安全衛生教育

平成 29 年 4 月 14 日（金）、新潟ユニゾンプラザにおいて受講生 52 名で『平成 29 年度 新規雇い入れ時安全衛生教育』が開催されました。



当教育は、労働安全衛生法第 59 条・労働安全衛生規則第 35 条で事業主は新たに社員を雇入れた時に、その社員が従事する業務から発生する労働災害や疾病を防止する為に安全または衛生を確保する為の教育を新人社員に行わなければならないと定められた教育です。各事業者が新たに雇入れた社員に対して行わなければならない安全または衛生を確保するための教育を各事業者が代わって当工組が行っています。

齊藤技術委員長の開会挨拶に続いて、新入社安全衛生教育として午前の部は当工組青年部顧問 品田史夫講師より「電気工事業としてのみなさんの役割」について、「社会人として、身に付



品田講師

けるべきこと」・「施工管理の業務内容」等の内容について講義が行われ、午後の部は当工組青年部副会長 齊藤卓也講師より「安全と衛生のルール」について、「作業に対する



齊藤講師

心得」・「メンタルヘルス」等の内容についての講義が行われました。

受講感想文【受講を終えての感想】では、「普段の現場作業

の中で安全を確保せずに作業を行っていた事に気が付けたので、今後は一つひとつ安全を確保し作業に取り組みたい」、「丁寧な言葉遣い、迅速な対応、思いやりを持ってお客様に対応していく重要性が理解出来た」等の感想がみられ、【電気工事の仕事を選んだ理由】では、「主人が電気工事士であったことから話を聞いて興味を持った」、「建設業ほど完成した時の達成感や感動を感じられる業界はないと思ったから」等の理由がみられました。

【今後の抱負】では、「現場に必要とされる技術者になる為に諸先輩方から仕事を学び、自己の技術向上に力を入れていきたい」、「一つの作業でも、なぜこうなるのか等を考えながら作業を行い、より多くの事を学んでいきたい」等の心強い抱負がありました。

齊藤技術委員長より、修了証の交付が行われ「本講習会で学んだ事を今後の仕事等に活かしていただければ幸いです。」と、閉会の挨拶が行われました。



齊藤技術委員長 挨拶

平成 29 年度

電気工事士現場力レベルアップセミナーを開催

経営企画推進委員会（山本進委員長）並びに新潟県中小企業団体中央会の共催事業として、平成 29 年度「電気工事士現場力レベルアップセミナー」が、4 月 18 日に長岡会場：長岡新産管理センター、4 月 19 日に新潟会場：新潟テルサにおいて開催されました。本セミナーは、電気工事士の方を対象にしたセミナーで、旧名称（電気工事士キャリアアップセミナー）からの開催を含め、今回が 7 回目の開催となり、組合員各社より長岡会場 38 名、新潟会場 26 名の計 64 名に受講いただきました。

講師には、埼玉県川越市の「SEEDO」代表 関根康明様をお迎えし、両会場とも午前中は「現場力を養う」、「現場の知識」、午後からは「キャリアアップの方法」、「工事士は現場の営業マン」、「安全管理のすすめ方」、「工事写真に学ぶ」、「これからどうなる！電気工事業」をテーマに、関



根講師の豊富な知識とご経験を基に幅広く体系的にご講義をいただき、関根講師から受講者への質問も交えながら、現場の知識や今後のキャリアアップやスキルアップのための心構え、安全管理の手法等の現場力を高める知識をわかりやすくご説明いただきました。

受講後に回答頂いたアンケートでは、受講生から、「難しい話がなく、とても参考になりました。」、「問題を解くことによって知らなかった事や他の人の考え方を学ぶ事ができてよかった。」、「これから仕事をしていくうえで、自分が意識していくべきことが明確になりました。」等、多くの受講生からご講評の感想を頂きました。

経営企画推進委員会では今後も人材育成に関するセミナーを多数開催していく予定ですので、ご参加いただけますようお願い申し上げます。



関根講師

平成 29 年度 「危険予知訓練」 を開催

5 月 16 日（火）上越市民プラザ

5 月 18 日（木）長岡新産管理センター

5 月 22 日（月）新潟県建設会館



上越会場：本山支部長



長岡会場：斎藤技術委員



新潟会場：斎藤技術委員長

平成 29 年度「危険予知訓練」を昨年度に引き続き上越・長岡・新潟会場の 3 会場で開催されました。

危険（キケン）の K、予知（ヨチ）の Y、トレーニング（訓練）の T をとって、KYT と呼ぶ。また、KYT とは危険に関する情報をお互いに寄せ集め、話し合って共有化し合い、みんなで集中して話し合い、それを解決していく中で危険に対する感受性や問題解決能力を高め、それを解決していく中で行動目標を定め、それを潜在意識に強く訴える手法です。



新潟会場：インストラクター

まず、開会挨拶を上越会場は本山支部長（上越）、長岡会場は斎藤技術委員、新潟会場は斎藤技術委員長より頂き、村田部会長の進行にて『危険予知訓練』が開始されました。

〈カリキュラム〉

- ①「危険予知活動の目指すもの」
- ② 指差し呼称・指差し唱和・T & C（実技）
- ③「ゼロ災運動と危険予知訓練」（講義）
- ④ 健康 KY（実技）
- ⑤ KYT 基礎 4R 法の進め方（実技）
- ⑥「最新－KYT 法の進め方」（VTR）
- ⑦ KYT 基礎 4R 法（2R 迄）（実技）
- ⑧ KYT 基礎 4R 法（4R 迄）（実技）
- ⑨ TBM－KY（実技）



上越会場：KYT 基礎 4R 法

閉会では、グループのまとめ役であったチーム幹事に今日の感想を述べてもらいその後、記念品が贈られました。

上越会場 9 名、長岡会場 33 名、新潟会場 56 名の総勢 98 名が受講され、最初はぎこちなかった「指差し呼称」「指差し唱和」も訓練の終わりには、しっかりとした力強いものになりました。この『危険予知訓練』で身に着けたことを活用頂き、今後も作業を安全にお願いいたします。

「ゼロ災でいこう ヨシ！」

「一人ひとりカケガイノナイひと ヨシ！」

東北電力引込線工事作業訓練（昇降柱訓練、基礎訓練）を開催

引込線事業委員会主催の東北電力引込線工事作業訓練（昇降柱訓練、基礎訓練）が、平成 29 年 6 月 7 日（水）～ 8 日（木）、6 月 14 日（水）～ 16 日（金）に開催され、132 名の方よりご参加いただきました。

本訓練は、まったく電柱の昇り降りを経験していない方のために、昇降柱のみを重点的にを行い、一定のレベルに達する事を目的にした「昇降柱訓練」、また、電柱の昇り降りは問題ないが、引込線作業を行ったことが無い方のため、柱上訓練を中心に DV 線の張上げをおこなう技能の習得を目指すことを目的にした「基礎訓練」の 2 つの訓練を実施しております。

また、受講生への指導は、毎年インストラクター専門部会の皆様にお勤めいただいております。

まず、6 月 7 日（水）～ 8 日（木）にかけて、新潟支部訓練施設（三浦電機㈱東港工場構内）において昇降柱訓練を開催、78 名の方に参加いただきました。

昇降柱訓練は、受講者を 2～3 名の班に分け、各班 1～2 名の講師が指導する形で実施、また、本訓練途中には、「梯子の取扱い」方法についての実演指導も行いました。

初めはぎこちなかった受講生の昇柱動作も、



開会挨拶



梯子の取り扱い指導



1 日かけて昇柱動作を繰り返し行う事で、訓練の最後にはしっかりとした動作が身につきました。

翌週の 6 月 14 日（水）～ 16（金）にかけて、基礎訓練を開催、64 名の方に受講頂きました。初日の 6 月 14 日（水）は、電気工事会館において、座学講習を実施、「改訂 標準作業マニュアル」をテキストとして、道具及び作業前の点

検、家屋側及び電柱側の引込線工事の作業方法等を学んでいただき、午後には、スマートメーターの取付け実技訓練を行いました。

受講生の皆様は、熱心に講師の方のお話に耳を傾け、またメーター取り付け訓練に取り組んでいました。



メーター取り付け訓練

6月15日(木)・16(金)は、新潟支部訓練施設(三浦電機(株)東港工場構内)において、実技訓練を実施いたしました。

実技訓練は、昇降柱訓練と同様に、受講生を2～3名の班に分け、各班1～2名の講師が指導する形で実施いたしました。

受講者の皆様は、作業台の取付けや防護等の柱上での作業、Cコムの圧縮作業等、初めて行う作業にてこずる場面も多くみられましたが、インストラクター部会員の指導のもと、熱心に訓練に取り組んでおられました。

受講生の皆さま大変お疲れ様でした。訓練で



習得した技術を日々の作業に生かして頂き、会社の大きな力となるよう頑張ってください。皆さま方のご活躍を期待しております。

先進技術による 配電盤と電気工事



東港工場



三浦電機株式会社

代表取締役 小名 隆 一

本 社 新潟市東区錦町1-18 TEL (025) 274-0381
 柏崎営業所 柏崎市三和町3-40 FAX (025) 274-0385
 東 港 工 場 新潟市北区島見町3399-10 TEL (0257) 24-3739
 TEL (025) 255-4201

新潟支部

支部活動報告

新年度が始まり、新潟支部も新しい活動が始まりました。

最初に、新潟支部の最高決議の場である通常総会が、5月16日に篠田昭新潟市長をはじめ、佐藤一紀東北電力(株)新潟営業所長、当工組小林功理事長をお迎えし、新潟市内のホテルで行われました。今年度は役員改選の時期に当たり、新たなメンバーのもとで、今後2年間の組合活動が執り行われる事になりました。また、来年度は新潟支部の創立70周年の節目の年に当たり、記念事業の立案計画準備も本年度から開始されます。

最後に今年も「安全第一」「無事故無災害」を祈念して、盛会の中、閉会となりました。



支部通常総会

以前より、新潟支部では地域貢献活動として、新潟市内の清掃活動に参加してきました。今年の最初の参加は5月21日の鳥屋野潟一斉清掃で、早朝から1時間程度のごみ拾いを行いました。当支部からも7事業所22名が参加し、ご家族連れの方もおられ、初夏の日差しと心地よい風にあたりながら清掃活動が行われました。鳥屋野潟は自然豊かな潟で、憩いと安らぎを得られる大切な場所を維持する活動に参加でき、満足感をもって解散しました。



鳥屋野潟一斉清掃

5月24日に、新潟支部青年部の定時総会が開催されました。親会と同様、役員改選の時期で、新しい執行役員が選任され新年度が開始されました。会員間の親睦を深めるための様々な行事が計画され、今年も例年通り8月4日の新潟まつり「大民謡ながし」の参加も決まりました。また、技能習得や知識の向上のための視察、工業高校の学生との交流事業等、今後の活発な活動が期待されます。



支部青年部定時総会

最後に、6月1日に行われた表彰式で昨年度の支部活動が評価され、最優秀賞として新潟支部が表彰を受けました。関係者の努力が実を結ぶことができました。この受賞に恥じない様に、今後も新潟支部の事業運営及び活動を続けていきたいと思ひます。

佐 渡 支 部

佐渡トキマラソン 2017

4月23日(日)、島内で佐渡トキマラソン2017が開催されました。当日はお天気にも恵まれ、走りやすいコンディションとなりました。



大会セレモニー

コースは、一般男女が対象のフルマラソン並びにハーフマラソン、一般男女と高校生が対象の10km並びに5km、小学5・6年と中学生が対象の3km、今年新設された小学生以上が参加できるエンジョイ2kmの6コースが設けられ、自分の体力に合わせて選ぶことができるようになっています。

見どころとして毎年有名な選手をお迎えし、大会を盛り上げています。2015年には、公務員ランナーとして有名な川内優輝さんをお迎えしました。他の大会でフルマラソンを走った後ということもあり、佐渡トキマラソンではハーフマラソンに出場されました。ゲストランナーのため順位はつかなかったようですが、スタート直後から独走態勢に入りゴールを切りました。

今年は、NHK-BS-1「ラン×スマ〜街の風になれ」にレギュラー出演中の、プロフェッショナル・ランニングコーチ金哲彦さんをゲストコーチにお迎えしました。

大会前日に小学生以上を対象にした「ランニング教室」が開催され、多くの方が参加されました。参加された皆さんは、金さんからストレッチの指導や、身体を実際に動かしての正しいマラソン姿勢等のアドバイスを受けていました。



金 哲彦さんのランニング教室

また、招待選手として(株)重川材木店・陸上競技部の4名が参加され、10kmコースには岩倉駿選手、崎浜凌選手、ハーフコースには木部誠人選手、鈴木利弥選手が出場されました。そして今年も姉妹レースの「グアムココロードレース」より、ミス・グアムも大会の応援に駆けつけてくれ、大会に華をそえていただきました。

大会では佐渡の特産品を活かして、給水所ならぬ給スイーツ所が設けられました。佐渡で運営する観光農園で作られた低農薬栽培の苺の「越後姫」、佐渡の塩を使ったドライフルーツの「塩トマト」、トキ認証米のさどっ粉を使用して作った「もちりシュー」、辛口のお酒を使用して作った「酒ようかん」、「クロワッサン」が選手に提供され、好評を博していました。また、毎年フルマラソン完走者には、「佐渡市の木 アテビ」を使った完走メダルも授与されます。

「佐渡ならではの」を活かし、何年も続く楽しい大会になってほしいと思います。



懸命に走るランナー

新津支部青年部

チ ャ ム ワ ー ク

新津支部青年部は現在 13 名で活動しております。

4 月には、「さくらフェスタ」と言う五泉市の建築会社主催のイベントに参加して、高所作業車の体験を行いました。

主に子供が乗るわけですが、高いところからの景色はとても気持ちがいいとのことでした。しかもこの時期は大体桜も満開でしたし、天気も良くかなり好評でした。

秋は、東北電力(株)新津営業所と、(株)ユアテックと、私たち青年部の 3 グループ対抗のスポーツ交流会が行われます。同じ地域で仕事をしている皆さんと共にスポーツをして汗を流し、夜の懇親会で情報交換をしながら日頃の疲れをリ

フレッシュしつつ、より結束を深めています。

新津支部では毎月第 3 木曜日に定例会を開いて、日々変わりゆくこの業界についていくべく、いかに効率よく仕事ができるかなどを話し合っています。また、新津支部メンバーのほとんどが現場第一線で働いており、忙しい時などはメンバーで手伝いに行ったりして、会社は違えども「チーム」として協力しあいながら技術を高めあっています。

これからは青年部の部員が年々減少していく中で、部員個人ではなく「チーム」としてタッグを組みながらこの青年部そして電気工事組合さらには電気業界を盛り上げていく様日々活動をしていきたいと思ひます。



三条支部青年部

年末の大掃除！ ボランティア活動

昨年の 12 月 17 日に加茂市若宮地区の 75 歳以上のひとり暮らしの老人宅にボランティア活動としてお邪魔させて頂きました。

三条支部青年部会は、このボランティア活動を毎年行い、約 20 年近く経つと思ひます。最初は三条・加茂・田上の老人福祉施設を隔年で回るという形でしたが、10 年ほど前から市役所と連携をしてお年寄りの方から募集をして、ご依頼があるお宅を回るといふことにいたしました。青年部員 4、5 人の班編成をして清掃用具・脚立・腰道具を持ち、午前 2 件、午後 2 件を 1

日かけて 12 件ほど回ります。年末ということで大掃除を兼ねてお伺いするわけですが、お年寄りの方々の手の届かない照明器具を外して清掃をしたり、普段あまりしないエアコンのフィルターの掃除、台所の換気扇を取り外して洗剤で油汚れを落としたり、それを見てお年寄りの方は笑顔で「とても綺麗になった。これでいい正月が迎えらる。」と本当に喜んで頂いて私達もとても嬉しいです。

その他に配線器具の緩みのチェック、コンセントプラグの埃を取り除きなど、不点球に関し

て無償で交換しておりランプは毎年、富士電材(株)からのご協賛を頂いております。

最後に漏電検査を行い絶縁の悪いものに関してその場で直せるものは処置し、器具交換など費用のかかるものに関しては、お知り合いの電気屋さんがいればそこに相談して頂くか、もしくは三条電気工事組合に電話もらえれば私達の



誰かがお伺いします。とご説明させて頂き後にします。1件1時間半ほどの作業でしかありませんが、これからもこの活動を通じ1人でも多くの方が快適な生活が送れますように私達青年部一丸となってこの活動を継続していきたいと思っております。



燕 支 部 青 年 部

みんなで集まれるっていいね！

支部長の挨拶の後にスタートした燕支部恒例のボーリング大会はボールに弾かれるピンの音に包まれながらゲームが進む、ストライクを出してのガッツポーズ、ナイススパーのハイタッチ、ガーターの落胆の表情を浮かべるプレーヤーにドンマイの励まし、昨年度は記念の30回大会となり多くの組合員が参加するイベントとなった。

女性と子供にはハンディキャップが与えられみんなが優勝をめざす。景品は電材店の協力もあり毎年豪華な賞品となることは組合員、周知のところである。燕支部青年部は毎年行われる当事業の運営を親組合より任されており、運営



及び会計を含む全般を取り仕切る。大会案内と共に参加申し込みのFAX、会場手配、参加者の取りまとめ、景品の手配、当日の仕切り、表彰式、とやることは様々であるが先輩より長年受け継がれてきた know-how があり、青年部三役を中心にそつなくそれをこなしていく。もうひとつ、親会より運営を任されている事業が納涼会である。昨年度は釣り大会を計画、燕支部管内の寺泊港より釣り船を貸し切って出航した。参加者のほとんどが初心者にも関わらず、船上は大漁の大賑わいとなった。釣果は全員が“つ抜け”1m近いシーラと太刀魚も顔を見せてくれた。子供の参加もあり、家族交流もできた。はて今年は何するかな？



平成 29 年度電気使用安全月間

一般家庭を主軸に電気使用安全に関する啓発を展開!!

本年度も経済産業省主唱のもとで、電気使用安全月間運動が8月1日～31日の一ヶ月間に亘り実施される。当月間運動は、電気使用の安全に対する知識をひろく啓蒙・普及するために、感電事故の多い夏場に全国各都道府県で実施されるもので、昭和 56 年以来毎年 8 月に実施され、本年で 37 回目を迎える。

本年度も「地域社会に視点をのいた電気使用安全運動」を全面的に押し出し、電気保安の観点から、各地域の実状に適し、かつ、一般家庭の立場に立った活動が全国で展開される。

また、4 年目となる感震装置・避雷器の取付推進運動も併せて実施される。

当工組でもこれに呼応して、ポスター、PRリーフレット、チラシ、うちわ等の PR グッズを各支部に配布し、所期の目的達成のため各支部の実状に適した活動を全県下で展開する予定である。

目 的

一般家庭を主軸に電気使用安全に関する啓発を行い、不良電気設備の改修を実施するとともに、併せて電気工事を行う者の研修を行い、一般用電気工作物の保安確保と電気災害の防止に資することを目的とする。

実施項目

1. 地域社会に視点をのいた電気使用安全に関する啓発指導
2. 感震装置・避雷器の取り付け推進
3. 不良電気設備の改修工事の実施

4. 電気設備の安全診断の実施
5. 電気設備のリニューアルの推進
6. 電気安全啓発キャラバン隊の実施
7. 電気工事士に対する研修の実施
8. 200ボルト化の普及推進

あなたが防ぐ電気事故

電気使用安全月間 2017年8月1日～8月31日 主唱：経済産業省

日頃から電気的安全を心がけ、かしく上手に使いましょう

主催 各ブロック組合連合会 各都道府県電気工事業工業組合
 後援 各都道府県 日本放送協会

感震装置・避雷器取付推進運動実施中!

準備期間 平成 29 年 7 月 1 日～7 月 31 日

実施期間 平成 29 年 8 月 1 日～8 月 31 日

お宅の分電盤は安全ですか?

感震装置・避雷器

住宅用分電盤は、電気を安全に使えるような機能を備えています。

取付推進運動実施中! 8月1日～31日

平成29年度 電気使用安全月間

感震装置の取付をお勧めします!
 大地震時に分電盤の端子が振動し、電線が断れる危険があります。感震装置を取り付けると、地震発生時に電線を自動的に遮断し、感電を防ぎます。

避雷器の取付をお勧めします!
 雷が落ちると、電線に高電圧が誘起され、電線が断れる危険があります。避雷器を取り付けると、雷電圧を抑制し、電線を保護します。

お取り替えは安心できる電気工事業者へ

新潟県電気工事工業組合

組 合 員 の 異 動

平成 29 年 6 月理事会承認分

日付		支 部	
H29.6.20	新 規	新 潟	(有)工友電設

組 合 員 の 変 更

平成 29 年 4 月～ 6 月組合受付分

支 部	事 業 所	変更箇所	変 更 前	変 更 後
新 潟	(株)トーホー	代 表 者	樋口 哲郎	渡辺 豊
村 上	タキ電気	代 表 者	大滝 克哉	大滝 吉和
	中山電気	商 号 代 表 者	磯部電業 中山 鉄司	中山電気 中山 淳司
新発田	苜栄ライフ(株)	代 表 者	佐藤 哲也	栗原 幹
	(株)日立産機 中条エンジニアリング	代 表 者	近藤 秀夫	鈴木 幸男
新 津	(有)木沢電設	代 表 者	木沢 政一	木沢 行夫
	(有)NEW	代 表 者	曾我 晃明	荒木 正幸
	丸一電気	代 表 者	坂口 俊一	坂口 忠男
燕	(有)村越電機店	住 所	西蒲原郡弥彦村大字平野 452	西蒲原郡弥彦村大字平野 452 乙
長 岡	(有)阿部電機商会	代 表 者	阿部 正夫	阿部 直樹
	シントク(株)	商 号 代 表 者	(有)シントク 西山 徳松	シントク(株) 西山 和樹
	(有)ミドリ電気	代 表 者	兼古 清	兼古 健太
上 越	柴田工業(株)	代 表 者	柴田 光秋	柴田 国夫
	(有)タカデン	代 表 者	池田 弥一	岩井 弘人
	(株)野口電気	住 所	〒 944-0017 妙高市中央町 4-3	〒 944-0047 妙高市白山町 2-2-21
	(株)ホソノ電気トータス	代 表 者	細野 保雄	細野 秀博
魚 沼	電設・サカエ	F A X	025-772-7265	025-772-3068
佐 渡	(有)両電舎	代 表 者	南子 茂雄	南子 博文

HEMS対応住宅分電盤

スマートコスモ®が おすすめしやすい 価格で新登場!!




HEMS対応住宅分電盤
スマートコスモ AiSEG通信型
BHN8520J
希望小売価格 ¥11,100円(税別)

AiSEG®(別売)

スマートコスモ®



「AiSEG」および「スマートコスモ」は、パナソニックグループの登録商標です。

©お問い合わせ先…パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 新潟電材営業所
〒950-2031 新潟県新潟市西区流通センター1丁目1番地3号 (025)260-7711

Wonders!
by Panasonic

危険物取扱者試験・消防設備士試験日程

～ あなたの未来に活かせる資格を！！ ～

危険物取扱者試験

平成29年 8月27日(日)

受付期間(書面申請)
平成29年7月12日(水)～7月26日(水)

受付期間(電子申請)
平成29年 7月9日(日)～7月23日(日)

試験種類
甲種・乙種第1～6類・丙種

受験地
新潟市・長岡市・上越市・三条市

消防設備士試験

平成29年10月15日(日)

受付期間(書面申請)
平成29年8月30日(水)～9月13日(水)

受付期間(電子申請)
平成29年 8月27日(日)～9月10日(日)

試験種類
甲種特類・甲種第1～5類
乙種第1～7類

受験地
新潟市・長岡市・上越市

(一財)消防試験研究センター 新潟県支部

〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ7階703号
TEL 025-285-7774 FAX 025-211-7011 <http://www.shoubo-shiken.or.jp>

※受験願書、免状の書換え申請書は、当センター支部及び県内の消防署で配布しています。
※年間の日程等については、上記にお問い合わせください。



企業繁栄と

= 豊かなセカンドライフへの橋渡し =

東北七県電気工事業に従事する方々の
よりよい福祉の向上を目指す。

東北七県電気工事業厚生年金基金

理事長 小林 功

〒984-0074 宮城県仙台市若林区東七番丁 157 番地
TEL 022-221-4415 FAX 022-224-6843

家庭用太陽光発電システム設置事業者の 販売促進の取り組み経費を助成します

～ 平成 29 年度 新潟県家庭用太陽光発電導入促進事業補助金の募集 ～

【事業の目的】

新潟県家庭用太陽光発電導入促進事業補助金は、

- I. 家庭用太陽光発電システム（以下、「システム」）の設置工事を元請けとして行う事業者で、平成 29 年度のシステム設置件数が平成 28 年度のシステム設置件数を上回る事業者
- II. 上記 I の補助事業に取り組む事業者で、新たな販売促進活動（新規又は平成 28 年度の取り組みの拡充）によりシステムの導入促進を図る事業者【販売促進活動には、太陽光発電に付随した蓄電池、エネルギーマネジメントシステム、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）等も含む】

に対して補助金を交付し、システム導入を促進し、県内の再生可能エネルギーの導入拡大を図ることを目的としています。

I. システムの設置に係る補助

【補助の内容】

補助対象事業者	補助の対象となる事業者は、新潟県内に事業所 ^{※1} が存在し、元請け ^{※2} として太陽光発電システムを設置する事業者となります。
事業計画書の作成	補助希望事業者は太陽光発電システムの販売を促進させる取り組み（販売価格低減、アフターサービス、販売促進等）、及び平成 28 年度元請け設置件数 ^{※3} 、H29 年度元請け設置予定件数 ^{※4} を記した事業計画書を作成して提出してください。
事業計画書提出期間	平成 29 年 4 月 25 日 ～ 平成 29 年 7 月 31 日（必着）
事業計画の公表	提出された事業計画の基本情報を公表し、広く県民に周知します。
補助の要件	次の要件を全て満たす場合、補助金を交付します。 ①平成 29 年度の元請け設置件数が 3 件以上 ②平成 29 年度の元請け設置件数が、平成 28 年度の元請け設置件数を超えた場合
補助金申請の受付期間	平成 29 年 4 月 25 日 ～ 平成 30 年 3 月 9 日（必着） 平成 28 年度の元請け設置実績件数を超えた時から、順次申請できます。 但し、1 事業所あたり補助上限件数は 10 件とします。
補助額	補助対象となるシステムを設置した地域により、 ・平野部 ^{※5} ：@2 万円 / 1kW（豪雪地帯対策特別措置法で豪雪地帯に指定されている市町村） ・山間部 ^{※6} ：@2.5 万円 / 1kW（豪雪地帯対策特別措置法で特別豪雪地帯に指定されている市町村） で、算出します。
補助件数	全体で約 152 件補助予定（予算が無くなり次第終了します。）

※1）新潟県内に支店等複数の事業所がある場合は事業所単位での申請でも構いませんが、その事業所の代表者の名前で施主と契約する場合があります。また、新潟県内に事業所があれば、本社は県外でも構いません。

※2）「元請け」とは、太陽光発電システムを設置する施主と直接契約をすることです。販売店等が契約したシステムを請負で設置する場合は対象となりません。

※3）平成 28 年度元請け設置件数は、平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 13 日の間に電力受給を開始した 10kW 未満の元請け設置件数とする。（平成 29 年 3 月 14 日～平成 29 年 3 月 31 日の間に電力受給を開始した 10kW 未満の元請け設置件数は除く。）

※4）平成 29 年度元請け設置予定件数は、平成 29 年 4 月 1 日以降に電力受給を開始する 10kW 未満の元請け設置予定件数とする。

※5）「平野部」とは、豪雪地帯対策特別措置法（昭和 37 年 4 月 5 日法律第 73 号）において豪雪地帯に指定を受けている県内市町村で、具体的には、新潟市、新発田市、見附市、燕市、阿賀野市、佐渡市、聖籠町、弥彦村、田上町、出雲崎町、刈羽村、粟島浦村となります。

※6）「山間部」とは、豪雪地帯対策特別措置法（昭和 37 年 4 月 5 日法律第 73 号）において特別豪雪地帯に指定を受けている県内市町村で、具体的には、長岡市、三条市、柏崎市、小千谷市、加茂市、十日町市、村上市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、阿賀町、湯沢町、津南町、関川村となります。

Ⅱ. 販売促進活動に係る補助

【補助の内容】

補助対象事業者	補助の対象となる事業者は、前記Ⅰ. システムの設置に係る補助事業に取り組む事業者で、新たな販売促進活動（新規又は平成 28 年度の取り組みの拡充）によりシステムの導入促進を図る事業者となります。【販売促進活動には、太陽光発電に付随した蓄電池、エネルギーマネジメントシステム、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）等も含む】
補助対象経費	システムの導入促進を図るための新たな販売促進活動に要する経費のうち、会場借上費、会場設営費、広告宣伝費、通信運搬費、展示品等輸送費 ※補助対象経費は、消費税抜きの金額であること。
交付申請書の作成	補助希望事業者は太陽光発電販売促進活動の概要、経費の内訳、補助金交付申請額等を記した補助金交付申請書（兼事業計画書） ^{※1} を作成して提出してください。
交付申請書提出期間	平成 29 年 4 月 25 日 ～ 平成 29 年 7 月 31 日（必着）
補助の要件	次の要件を全て満たす場合、補助金を交付します。 ①前記Ⅰ. システムの設置に係る補助事業に取り組む事業者であること。 ②補助対象となる新たな販売促進活動（新規又は平成 28 年度の取り組みの拡充）の実施日、請求及び支払日が補助金交付決定日以降であること。 ^{※2}
補助金申請の受付期間	補助金交付決定日以降 ～ 平成 30 年 3 月 9 日（必着） 事業計画に基づく新たな販売促進活動が終了し、支払いが完了した時点から申請できます。
補助額	①今年度に新たにに取り組む販売促進活動に要する経費の 2 分の 1 以内（1,000 円未満の端数は切り捨て）。 ②1 事業者あたりの補助金交付申請額の上限は 30 万円とし、補助金交付決定後の補助金申請額は補助金交付決定額を上限とします。
補助件数	約 15 事業者補助予定（予算が無くなり次第終了します。）

※1）Ⅰ. システムの設置に係る事業計画書も事前又は同時に提出していること。

※2）補助金交付決定日前に実施（支払い）した新たな販売促進活動は補助対象とはなりません。

※詳細は下記補助金専用ホームページをご参照ください。

【お問い合わせ先】

新潟県電気工事工業組合 太陽光補助金係

新潟市中央区上大川前通 6 番町 1203 電話 : 025-229-4101 FAX : 025-223-7321

E-Mail : ndkk@dkkni.or.jp

補助金専用ホームページ : <http://www.chuokai-niigata.or.jp/ndkk/solar-hojo/>

(新潟県電気工事工業組合 HP からリンクあり)

電気の子メーター管理者の皆様へ

証明用電気計器(子メーター)の有効期限が過ぎていませんか?

子メーターとは、貸しビル、アパートなどでオーナーが一括して支払った電気料金を各室の使用量に応じて配分するためのメーターをいいます。計量法では、「検定を受けたもの・有効期間内のもの」でなければ、取引又は証明における計量に使用してはならないことになっています。(計量法第16条)これを使用した場合計量法で罰則規定(計量法第172条)がありますが、当事者間のトラブルを未然に防ぐためにも、計量法を遵守されることをお願いいたします。また、有効期限を確認するための立入検査は、行政機関(各地方自治体の計量検定所、計量検査所、消費生活センターなど)自身によって行われており、現在、民間その他の機関に、立入検査を委託している事実はありません。

有効期限は検定ラベル等に表示しております。

検定ラベル
(検定に合格したものの)
平成23年4月 以前
平成23年3月 以前
有効期限 39.6 月

または
単独計器の有効期限を示す。

検定ラベル
(自主検定に合格したもの)
平成23年4月 以前
平成23年3月 以前
有効期限 33 月
000000

または
単独計器の有効期限を示す。

封印キヤップ
(検定ラベルの場合)
平成28年4月以降

または
封印キヤップ
(検定ラベルの場合)

変成器付計器 検定証印
有効期限 平成34年6月を示す。

検定票
島 34 6
(ファイバー)

東北地区証明用電気計器対策委員会

東北経済産業局 http://www.tohoku.meti.go.jp/s_shigen_ene/denyoku_free.html
 日本電気計器検定所 http://www.jemic.go.jp/kentei/shoumei_dk.html
 東北計器工業株式会社 <http://www.keiko.co.jp/>
 (一財)東北電気保安協会 http://www.t-toan.or.jp/060_safety/060-40-02_kari/kari.htm

※無断転載・複製を禁じます。

子メーターの交換について

有効期間の過ぎたものには以下のいずれかの方法で検定済みのものとお取替え下さい。

- ① 修理事業者が所有するものとお交換する。
- ② 新品のものを購入する。
- ③ 使用中のものを取り外し、修理後検定を受けた後取り付ける。

● お問い合わせ先

- ・東北計器工業株式会社 本社営業部 TEL 022(345)2104
- ・(新潟事業所) TEL 025(245)7251 盛岡営業所 TEL 019(638)8311
- ・大崎電気工業株式会社 仙台営業所 TEL 022(223)3747
- ・東光芝メーターシステムズ株式会社 TEL 03(6371)4363
- ・GE富士電気メーター株式会社 営業部 東日本グループ TEL 022(225)5353
- ・三菱電機株式会社 東北支社 TEL 022(216)4554
- ・株式会社エネゲート 営業開発部 TEL 06(6458)7936

詳細についてのお問い合わせ先

● 計量法については

- ・東北経済産業局 資源エネルギー課 電力・ガス事業課 TEL 022(263)1111
- ・東北地区計量行政協議会及び新潟県計量検定所
- 青森県 計量課 TEL 017(739)8555 秋田県 産業政策課 TEL 018(860)2211
- 岩手県 商工企画室 TEL 019(629)5528 宮城県 計量検定所 TEL 022(247)1641
- 山形県 産業政策課 TEL 023(630)2115 福島県 計量検定所 TEL 024(521)7667
- 新潟県 計量検定所 TEL 0256(36)2240

・全国特定市計量行政協議会東北ブロック

- 青森市 計量検定所 TEL 017(734)5250 弘前市 市民生活課 TEL 0172(35)1135
- 八戸市 商工政策課 TEL 0178(43)9524 秋田市 計量検査所 TEL 018(866)8831
- 盛岡市 消防センター TEL 019(604)3301 仙台市 消防センター TEL 022(268)7040
- 山形市 消防センター TEL 023(647)2201 福島市 計量検査所 TEL 024(525)3721
- 郡山市 計量検査所 TEL 024(924)2251 会津若松市 商工課 TEL 0242(39)1252
- いわさ市 計量検査所 TEL 0246(23)4695
- 新潟市 消防センター TEL 025(228)8102 (関東・甲信越ブロック)

● 検定については

- ・日本電気計器検定所 東北支社 TEL 022(786)5031

東北地区証明用電気計器対策委員会

子メーターの使用の適正化を図ることを目的とし設置されたものであり、委員会は以下の機関で構成されております。

- 東北経済産業局 東北電力株式会社
- 東北地区計量行政協議会 東光芝メーターシステムズ株式会社
- 全国特定市計量行政協議会東北ブロック 東北計器工業株式会社
- 新潟県計量検定所 (一財)東北電気保安協会
- 新潟市消費生活センター 東北七県電気工事組合連合会
- 日本電気計器検定所東北支社 (一社)東北電気管理技術者協会
- 仙台ビルディング協会 (一社)日本電設工業協会東北支部

工場・商店等で低圧200V～600Vの電力をご使用のお客さまへ

古い低圧進相コンデンサによる火災事故の未然防止としてご使用の停止とお取替えをお願いしております。

長年ご使用の「低圧進相コンデンサ」は 発火の危険性があります！



昭和50年(1975年)以前に製造された低圧進相コンデンサは、経年劣化により寿命領域にあり、場合によっては火災に至る危険性があります。早急にご使用を停止し、お取替えをお願いします。

昭和50年(1975年)以前に製造された低圧進相コンデンサは、保安装置が内蔵されておられません。

※製造年はコンデンサ正面に貼られた銘板を確認下さい。

※お取外し、お取替えはお客様のご負担をお願いします。

※保安装置、保安機構内蔵のコンデンサであっても、長期ご使用に伴う経年劣化により危険な場合もあります。定期的な点検と計画的な更新をお願いします。

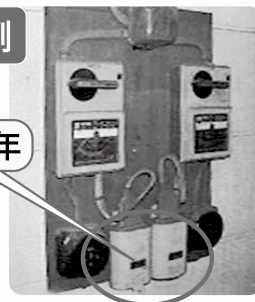
(日本電機工業会では低圧進相コンデンサの更新推奨時期は10年としています。)

低圧進相コンデンサとは

低圧進相コンデンサは、工場のモータで稼働する設備や店舗の業務用冷蔵庫等の電気機器の力率を改善する目的で配電板や配電盤に設置されています。

※商品の外観はメーカーにより異なります。

設置例



製造年

低圧進相コンデンサでなぜ火災に

ご使用方法や周囲環境によっては、経年劣化により、万一、絶縁破壊した場合には金属容器または樹脂容器が破裂し火災に至る危険性があります。

事故例



焼損した
コンデンサ

正常な
コンデンサ

人と社会と技術の調和
JEMA 一般社団法人日本電機工業会
03-3556-5885

お問い合わせ先 低圧進相コンデンサ市場対応WG加盟会社【販売会社】

- (株)指月電機製作所 0798-74-3704
- 中国電機製造(株) 050-5524-1356
- 東芝ライテック(株) 046-862-2038
【東京芝浦電気(株)・東芝電材(株)】
- ニチコン(株)【日本コンデンサ工業(株)】 077-563-1181
- 日新電機(株) 075-864-8397
- 日本ケミコン(株) 03-5436-7727
【マルコン電子(株)・東京電器(株)・二井蓄電器(株)】
- パナソニック(株)【松下電器産業(株)】 0763-33-6333
- 三菱電機(株) 03-5776-0266

受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日は除く)

中 CHU 退 TAI 共 KYO 済 制 度

小企業 退職金 共済制度

中退共制度は、中小企業のための国の退職金制度です。



● **安心・確実**

国の助成がある退職金制度です
(新規加入助成・月額変更助成)

○ **有利**

掛金は税法上全額非課税です

安心して退職金を
受け取れる職場に



○ **簡単管理**

退職金の管理が簡単です
退職金は、中退共から
直接振り込まれます

○ **ポータビリティ**

離転職時に、他の年金制度等との
ポータビリティも可能です

● パートタイマーの方や家族従業員も加入できます。

初めての方に
おすすめ!

ホームページにて、説明動画配信中!



ネットで
検索

中退共

検索

詳しい資料はホームページからご請求ください。
〒170-8055 東京都豊島区東池袋 1-24-1
TEL: 03-6907-1234 FAX: 03-5955-8211



独立行政法人勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

編集発行：新潟県電気工事工業組合

〒 951-8068

新潟市中央区上大川前通6番町1203番地

<管理部門> TEL 025 (229) 4101

<資材部門> TEL 025 (229) 1586

印 刷：株式会社 大創



安全に
ベテラン
若手の
垣根なし

〈安全標語〉 燕支部 (株)つばでん 吉沢良子

新潟県電気工事工業組合